

地域活動にかかわるすべてのみなさまへ

女性の視点・多様な視点から考える 防災講座のご案内

遅くとも10～15年以内に起こると言われている南海トラフ大地震。
阪神・淡路大震災の数十倍の規模と予測されており、
伊丹市でも避難生活を余儀なくされる可能性が十分あります。

ところで、過去の大災害時に次のような事実があったのをご存知でしょうか？

大災害発生後と避難生活中には
女性が多く亡くなりました。

その後の仮設住宅での生活では
男性が多く亡くなっています。

避難生活では、性的被害や性の違い
による問題が多く発生しました。

***なぜこのようなことが起こったのでしょうか？**
***どうしたら防ぐことができたのでしょうか？**

過去の大災害の防災・避難所運営において、住民の半数以上を占める
「女性」の視点がきちんと反映されなかったことによる様々な不都合。

災害の直接的な被害をまぬがれ、せつかく助かったにもかかわらず、
「避けることのできる不幸」である「災害関連死」で失くした命。

このようなことが繰り返されないために、私たちはどうすればよいのか
という事を、過去の大災害の具体的な事例や各種のデータを基に、わか
りやすくお話させていただきます。

【講師】 NPO法人あなたらしくをサポート理事
防災士・ひょうご防災リーダー

片山 実紀

NPO法人 あなたらしくをサポート(愛称：らしーく)

すべての人が自分らしく生きることができるよう、男女共同参画に
ついてわかりやすく伝える活動をしている団体です。2013年設立。

